

港北の消防

第65号

令和3年10月1日

編集

横浜市港北消防団
(港北消防署内)

消防団長表彰

令和三年二月某日、消防団員として模範となる出来事がありました。第六分団の伊藤良勝消防団員は、勤務中に発見した傷病者に対し、的確かつ迅速な応急処置を実施した。頭部を負傷する経緯を視認していたことから、頭部・頸部を動かさないよう傷病者に指示し、救急要請を実施した。その後意識確認等の観察を継続し、救急隊に引き継



いで。
この消防団員として自覚あふれる行動に対し、消防団長表彰を、令和三年四月八日に港北消防署会議室で実施した。飯田消防団長から伊藤団員に賞状を交付し、伊藤団員の輝かしい功績を称えた。伊藤団員は「日々の訓練のおかげで自然と身体が動いた」と笑顔で語り、訓練の成果が身をもって感じる機会となりました。

令和三年四月期 辞令交付式

四月八日港北消防署会議室において消防団長表彰に続いて、令和三年四月期昇任者及び新任者辞令交付式を行いました。

該当者は昇任者三人、新任団員四人の内、参加者は昇任者として嶋村副団長、第三分団第六班大和副班長、新任団員として第五分団第五班紺野団員の三人が出席しました。

列席者は本部団員及び田辺第五分団長により式が執り行われ、三人を前にして、飯田団長により辞令を読み上げた後、辞令を手渡しました。



令和三年上期消防団員新任研修会

辞令交付式に引き続き、昨年度の十二月以降に入団した新任団員で本研修未受講者を対象とした、研修会を実施した。当日は第四分団第一班竹場団員、第五分団第三班渡邊団員、第五分団第五班紺野団員の計三人で実施しました。

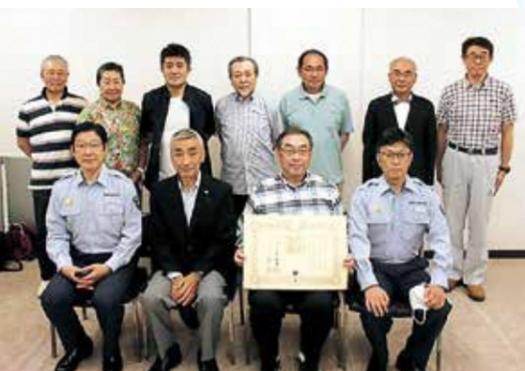
緊張した雰囲気の中で、飯田消防団長の開式挨拶から始まり、中山消防団係長による消防団活動や、福利厚生についての講義、齋藤訓練部長による、式典・訓練時に用いる基本的な礼式訓練の指導を行った。研修を通して、消防団員としての心構えと、地域貢献への意欲が増したという声を聞くことができた。研修終了後も、団員同士声をかけ合い、仲を深める行動が見受けられました。三密対策や感染予防対策を考慮した研修を実施することで、安全な研修を行うことができました。



石川副団長 藍綬褒章受章

藍綬褒章受章

六月八日港北消防署会議室において定例本部会議に先立ち、藍綬褒章授与式を開催しました。
令和三年春の藍綬褒章に石川副団長が受章され、本来であれば皇居にて授与式を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症市中まん延が収まらない中、授与式の中止が決定し、事務局あて賞状と記念品を受領しました。飯田団長の代読により賞状の授与の後、続けて記念品を授与しました。



港北消防団特別警戒

東京オリンピック2020に伴い、横浜国際総合競技場で男子サッカー・女子サッカーが開催され、港北消防団は港北消防署と連携し、特別警戒を行いました。期間は七月二十二日より八月七日までの試合開催日、八日間十一試合を対応しました。

無観客開催が決定し、積載車による競技場周辺の巡回警戒は行わず、港北消防署会議室内に港北消防団警戒本部を設置するとともに、男子決勝戦ほか四試合について、現地警戒本部に飯田団長、石川副団長、嶋村副団長、鈴木副団長が出向しました。

警戒本部は団長及び副団長、本部団員、分団長の三人により構成され、情報収集や巡回警戒班との連絡体制の構築を図りました。
大会開催期間中に大きな混乱もなく、つつがなく大会を終えることが出来たことに安堵の胸をなでおろしております。



団員募集チラシリニューアル

今年度は、消防団員募集チラシをリニューアルしました。多くの方にチラシを見てもらえるようポケットティッシュ用のチラシを作成、多くの消防団員が入団してもらえることに期待しています。

消防団員募集

入団を希望する方へ

入団条件

- ① 満18歳以上の方(男女問わず)
- ② 港北区に居住地、勤務先、通学先がある方
- ③ 国籍問わず

諸手当・報酬

- 活動報酬(訓練・災害毎に支給)
- 年額報酬(年1回)



電子申請により入団を希望される方は、
三次元コードよりお申し込みください。

横浜市港北消防署
総務・予防課消防団係
TEL/FAX 045-546-0119

港北消防団

